

北海道ぎょれん広報

なみまるくん

5
2022

No.403



「うみ・なかまコミュニケーション」

令和4年度ぎょれん事業計画(案)―後編―
全国漁業協同組合学校とぎょれん奨学金制度

特集

北海道
ぎょれん

マチコさんの あさかな コラム

札幌で活躍する2人の管理栄養士の方に、旬の魚をテーマとしたコラムを交互にご寄稿頂きます。

「穏やかな心で 春を感じるさわら」

5月は一年の中で最も好きな月です。春の爽やかな風の匂い、増していく樹々の緑、これから暖かくなる前触れを感じるのもいいですね。暑くもなく寒くもないので散歩に適した時季でもあります。

私も最近ジムやスーパー、デパートなど徒歩で行くことが多くなりました。歩いているといろいろな発見があったり、アイデアが生まれたり、気持ちも穏やかになるようです。

実際、散歩やウォーキングにはストレス予防作用があります。歩くことは、一定のリズムを刻んで体を動かす「リズム運動」。リズム運動は幸福感や穏やかな心を保つホルモン「セロトニン」が増えると言われています。セロトニンはストレスを予防する上で欠かせないホルモンです。

春の魚といって頭に浮かぶのが、魚へんに春と書く「鯿（さわら）」がそのひとつ。私がさわらと出会ったのは、おそらく大手料理教室に勤務していた頃

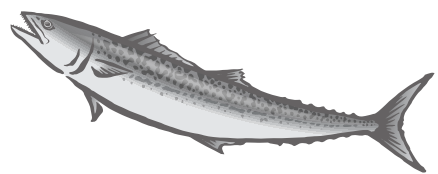
だったと思います。春になると焼き物、煮物、蒸し物などよく登場していました。白身でやわらかく、たんぱくな味わいなのでいろいろな料理で楽しめる魚です。高齢者施設に勤務していた頃はこの季節、よく旬の魚として献立に取り入れていました。

さわらは細い体型なので「狭腹（さはら）の魚」の意味から名づけられたと言われています。昔、日本では冠婚葬祭によく使われていたとか。

良質なたんぱく質が多く含まれ、アミノ酸の「トリプトファン」に富んでいます。トリプトファンは「セロトニン」の大事な材料。体内で合成することができないため、食品から取る必要があるアミノ酸です。睡眠を促すホルモン「メラトニン」はセロトニンをもとに作られますから、トリプトファンはストレス予防ばかりではなく、良質な睡眠にも関わると言えますね。

今月は五月病があるように、新生活や新しい仕事などでスト

レスが溜まりやすい時です。さわらなど食事とウォーキングでセロトニンをしっかりと増やしておきましょう。



うえ さか
上坂マチコ
お食事のカウンセリングサロン
colan代表/管理栄養士/料理家/
コラムニスト
テレビ出演、新聞・雑誌などでコラム連載や栄養監修、レシピ・スタイリングの提供などを行う。講演会や食事指導、料理講師、短大・専門学校の非常勤講師など活動は多岐。ぎょれんと共に昆布や鮭の情報を広く発信。

【うみ・なかま コミュニケーション】

なみまるくん

北海道ぎょれん広報誌
Hokkaido Gyoren Magazine
May 2022 No.403

5
2022

01 マチコさんのおさかなコラム
「穏やかな心で春を感じるさわら」

02 特集1
令和4年度 ゑれん事業計画(案) ー後編ー

08 特集2
将来の漁協を担う若きリーダーを養成
全国漁業協同組合学校とぎょれん奨学金制度

10 なみまるインフォメーション

11 頭すっきり!! ブレイクタイム

12 大漁祈願!
浜のほっとニュース

13 みなさんのお便りでつくるページ
なみまる おたより箱



表紙の写真
余市郡漁協 余市港です

春になり暖かくなってきましたが、この日は真がれいに加え、立派な真だらやほっけも上場されていました

特集 SPECIAL

令和4年度 ぎょれん事業計画(案) ー後編ー



先月から2か月にわたり、ぎょれんの令和4年度事業計画(案)をご紹介しています。今月は、販売事業のうち、ほたて・昆布・鮮魚に関する事業と、末端加工製品、食の安全・安心対策、宣伝販促・食育事業、購買事業、経営体制の計画についてお伝えします。

令和4年度事業計画

販売事業について

1. ほたて

令和3年度の全道ほたて水揚げ数量は、前年度並の44万トンとなりました。令和4年度の道内ほたて水揚げについても、引き続き高い水準が見込まれますが、海洋環境や社会情勢がめまぐるしく変化するなか、安定した生産、加工、流通を図るため、状況の変化に対し迅速かつ柔軟に対応しなければなりません。

生産面では、稚貝の生育不良や成貝のへい死など、安定生産が不安視される状況が続く、加工面では加工業者の処理能力の低下やそれに伴う仕向けの変化が生じています。また、流通面では、コロナ禍により国内外の先行きが不透明な状況が続くなか、円滑な消流を図るため、各市場のニーズに応じ適切な選択と手段を講じる必要があります。

乾貝柱については、不安定な香港情勢や、中国加工品の流通など取り巻く環境が変化す

るなか、各種リスクに対応した流通体制を整備する必要があります。本道ほたて漁業は各地区の基幹産業としての位置づけにあり、社会情勢に対応した実効性のある対策を北海道ほたて漁業振興協会と連携して実施します。

① 生産対策

ア. 原貝の全道広域流通による円滑な水揚げ体制の維持
イ. 消流状況を勘案した円滑流通が可能な原貝価格の形成
ウ. 加工業者の稼働実態の掌握と生産体制の維持

② 貝毒対策

ア. 水揚げ実態や貝毒安全性を確保したうえで、の貝毒管理要領の見直し
イ. 流通の多様化に対応した貝毒管理
③ 生産基盤整備対策
ア. 北海道ほたて漁業振興協会・道総研と連携した各種試験調査の実施

④ MSC 認証

ア. 道産ほたてのブランド化戦略の一環として国内・海外市場での販路確保

② 流通対策(北海道ほたて漁業振興協会と連携)

① 国内対策

ア. 原貝の広域流通対策と連動した製品供給体制の整備
イ. 国内市場向け安定供給と消費地需要

2. 昆布

令和3年度の昆布生産量は12,816トンとなり、3年連続13,000トンを下回るなど、低位な生産が続いています。昆布の減産要因は天然資源の減少や働き手不足など多岐にわたりますが、減産傾向から脱却するためにも、各種増産対策を推進し、昆布生産の維持回復を図ります。

流通対策については、減産に加え、長期にわたるコロナ禍での需要落ち込みに対応すべく、適正価格に向けた協議、消費喚起に向けた宣伝・販促活動、販売方法の検討を継続実施します。

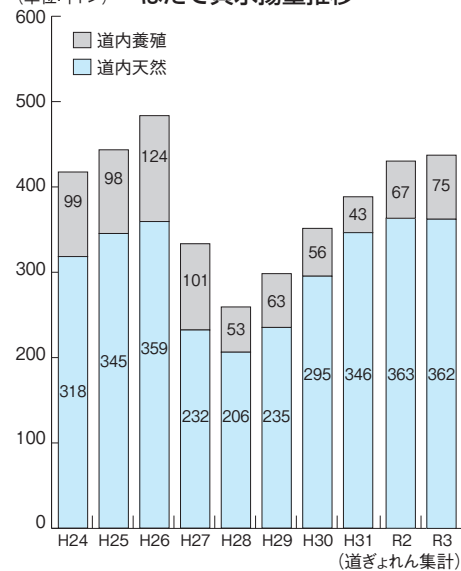
① 生産振興対策

ア. 地域における増産対策の支援
イ. どぶ漬けロープの効果的活用
② 昆布製品の生産効率向上
ア. 簡易規格の継続推進
イ. 生昆布製品化事業の検討

② 流通対策

① 国内昆布の安定消流
ア. 生産者が安心して生産に取り組める適正価格の協議
イ. 消費喚起に向けた宣伝・販促活動の実施
ウ. 安定流通を目指し、販売方法の検討継続
② 品質向上対策
ア. 異物混入防止対策の実施

(単位:千トン) ほたて貝水揚量推移

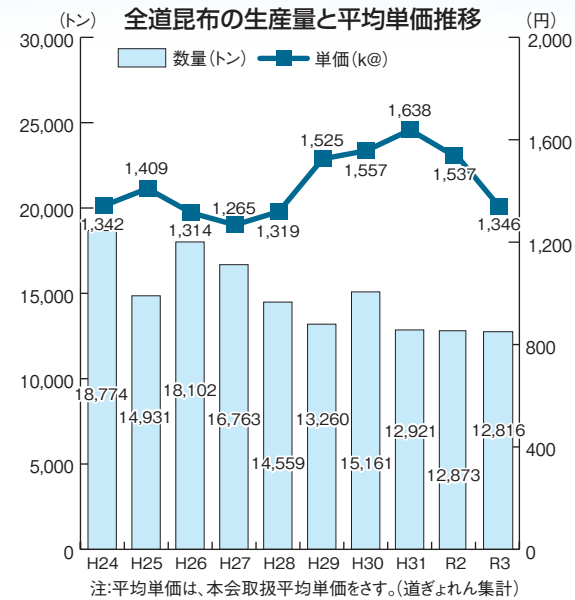


(3) 輸入昆布

① 適正な価格・数量に係る検討

ア. 北海道産昆布の安定流通を阻害しない輸入昆布価格の形成

イ. 昆布マーケットや需要者割当の堅持を目的とした輸入数量の協議



3. 鮮魚

昨年度は新型コロナウイルスの影響が続くなか、外食向け主体である貝類や、輸出が底支えとなっていたかれい類、ぶりなどの価格が大きく下落しました。

この状況に対し鮮魚流通対策事業においては、国の平準化事業も活用し原料凍結による浜対策を実施するなど、関係機関と連携して対応してきました。また、秋鮭・さんま・い

(3) 社会情勢に対応した企業価値向上の取組と販売回し込み戦略

- ① エコ資材への転換継続
- ② エコラベル認証商品の拡充継続
- ③ 食品ロス削減に向けた賞味期限延長及び納品限界撤廃への働きかけ継続
- ④ SDGsへの取組、ステークホルダーに対する情報発信の強化
- ③ 機器導入促進継続(人的補完)
- ④ 製品製造の効率化継続(アイテム整理等)
- ⑤ 製造原価上昇に伴う価格改定継続

食の安全・安心対策について

食品の安全性に関する社会的ニーズは高まる一方であり、それらを反映し、関連する法令が強化されるなど、食品事業者としての社会的責務は従前にも増して重くなっています。

本会グループが製造販売する商品の品質管理についても万全を期すところであり、各種対策をより一層強化継続し安全・安心な商品供給を維持します。

また、水産物流通の起点となる産地市場の衛生管理向上を図るべく道内漁協市場の施設点検業務を行い、道産水産物の安全・安心確保に努めます。

(1) 品質管理対策の拡充

① 定期工場点検の実施及び課題検証

かなど主要魚種の水揚げが低調ななか、系統鮮魚を中心とした日配鮮魚の販売を例年以上に強化し、生鮮での消費促進に取り組みできました。

本年度は引き続き浜の要望を踏まえ、生鮮販売の強化を図るとともに、変化する消費動向や、突発的な水揚げに即応できる凍結加工・流通体制の整備と販売の強化を図り、魚価と流通の安定に向けた取組を推進します。

(1) 鮮魚事業

- ① コロナ禍で需要が伸長した販路への販売拡充と、ポストコロナを見据えた取組みの実施
- ② 水揚げ増加傾向にある魚種の生鮮販売の強化
- ③ 関連部署と連携した原魚販売の強化による魚価対策の実施

(2) 冷凍事業

- ① 突発的かつ集中水揚げ時に対応しうる原魚凍結体制のさらなる拡充
- ② 国内、輸出両方を見据えた原料販売ルートの拡大
- ③ ポストコロナを見据えた商品開発と、ニーズに即した高次加工品の拡充

4. 末端加工製品

新型コロナウイルス感染症の拡大がもたらした社会情勢の変化は、食品を取り巻く製

(2) 産地市場衛生管理高度化推進

- ① ブロック別施設点検の継続実施(令和4年度は釧路・根室・北見管内)による漁協市場施設の衛生管理の向上
- ② 各地区の産地市場連絡協議会を通じた漁協職員向け衛生管理指導
- ② 関係法令の正しい理解及び適確な運用
- ③ 商品苦情の分析検証及び改善策
- ④ 本会職員・関連会社社員への教育啓発
- ⑤ 適確な商品仕様書管理

(3) 製品管理

- ① 直営工場を含めた生産工場の品質管理における精度向上
- ② 海外向け商品の管理基準の精査
- ③ 商品管理一元化に向けたシステム開発

宣伝販促・食育事業について

コロナ禍において変化した消費者志向や社会情勢を注視しつつ、さらなる今後の変化に即応し、道産水産物の消費促進を目的とした広告宣伝・販売促進事業を展開します。消費者ニーズにマッチした媒体・PR内容にてアプローチを図る他、本会が行っている海浜清掃活動、エコラベル推進運動等のSDGsの観点による訴求も複合的に展開します。

食育についても、従来からの調理師・栄養士等、影響力を持つ専門職をターゲットとした講座を実施する他、今後の食を担う低年齢

造、消費環境に多大なる影響を与え、その後の情勢変化、水揚げ、製造等の様々なシーンに即応した対策が求められています。また、消費者ニーズについても、日々の環境、社会の変容が直接的に関わってくるスピードが年々早くなっています。

消費者ニーズは従来からの品質、価格等の価値観に加え、企業の社会的貢献度、環境配慮等が商品の価値に上積みされる時代となっています。

これら種々の変化、変容に対応し、北海道水産物のさらなる価値向上と消費の安定化に取り組みます。

(1) 末端製品販売対策

- ① 業態別販売戦略の継続(宅配、量販店、業務筋)
- ② 右記業態に即した商品開発の推進
- ③ 水揚げ環境に即した商品開発の推進
- ④ 販売スケジュールに即した商品開発の推進
- ⑤ 本会製品のブランド化
- ⑥ 半製品の海外加工継続によるコストダウン
- ⑦ 末端商品の海外販路開拓、商品開発
- ⑧ B to C 事業向け商品の拡充

※ B to C : Business to Consumer
企業が一般消費者を対象に行うビジネス形態

(2) 末端製品製造対策

- ① グループ全体で連携した原料集荷の継続
- ② 一次処理工程の海外加工化拡大

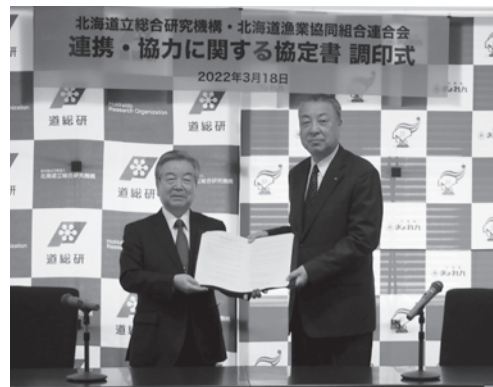


「まんがでよくわかるシリーズ」として「秋さけのひみつ」「はたてのひみつ」「こんぶのひみつ」を全国の小学校、公立図書館合わせて約2万5000冊を配布

層に対し、「食に関する知識」、「食を選択する力」を形成するだけではなく、食材の成り立ち、それに関わる人、歴史、組織等を社会情勢に応じた手法で発信します。

(1) 宣伝販促事業

- ① 家庭内食機会の増加に即し、家庭内で再現性の高いレシピの開発・発信や、Web動画・SNS等の効果的な活用による消費者へのレシピ提案
- ② 若年層を中心とした情報受容チャネルの変化を受け、本会SNS公式アカウントによる情報発信を強化
- ③ MSC/MEL漁業認証取得の優位性や地産地消の促進を積極的に打ち出すなど、SDGsの観点に立った情報発信
- ④ 生協共同購入・量販店等において、さらなる販促支援及び自家消費定着、取扱の伸長を目的に様々なツールで情報発信強



北海道水産業およびその関連産業の振興と発展に寄与することを目的に道総研と連携提携（2022年3月18日）

経営体制について

本道漁業は、生産環境（漁況、資源、担い手）、加工、流通、輸送及び国内外の消費状況など、大きな変化の波に晒（さら）されています。このような環境のもと、指導・経済事業を担う本会は各事業の強化はもとより、SDGsへの取組及び本会CSR活動を通じて、北海道の漁業・水産業界が持つ魅力の発信等、認知度向上への取組が求められています。

こうしたなか、本年は中期的事業推進方向「夢と活力ある北海道漁業の再興」の最終年として浜の負担に配慮するため、諸対策を果敢に推進するとともに、営業力の強化、財務基盤の強化に取り組みます。

併せて、職員教育の継続及び業・事務の合理化に取組むとともに、ぎょれんグループ全体の総合的な危機管理体制の拡充を図ります。

化
⑤ 異業種企業とタイアップした共同販促の実施

（2）食育事業

- ① 「秋さけ・ほたて・こんぶのひみつ」を活用した食育講座の実施
- ② 本会の公式SNSアカウントを作成し、本会CSRと連動させた食育事業の継続的な発信と活用

（3）秋鮭・ほたて・昆布の各協議会と連携した食育事業

- ① 次世代の食産業を担う調理師や栄養士を目指す学生に対し、北海道水産物の優位性を訴求する食育講座を継続実施
- ② 札幌市内保育園・幼稚園での食育講座及び保護者向けセミナーの実施

購買事業について

営漁コスト軽減に向けた系統ブランド資材の新規開発を進め、漁協系統購買機能の充実に図るとともに、脱プラスチックや廃プラスチック処理等のリサイクルを推進します。

〔系統ブランド資材〕

原油高による原材料費や運賃等の高騰から漁業用資材の価格動向が懸念されるなか、系統ブランド資材評価推進委員会活動等を通じて、良質廉価な漁業用資材の開発・普及を進めることで、既存資材価格に対する牽制を進めること。

めず。

〔漁具リサイクル〕

全道で刺網（ナイロン）や魚函（プラスチック）の回収を行います。その他の漁業資材のリサイクル化の実現に向けて検討を進めます。

〔漁業用燃油〕

原油価格は、コロナ禍による経済情勢が不透明であり、価格の乱高下が予想されます。燃油取扱の系統利用率向上と燃油施設の整備を通じて、安定供給を進めます。

〔一般資材〕

環境に配慮したエコ資材の提案と利用推進を進めます。

〔施設・機器〕

補助事業の活用等により生産者の作業省力化に貢献する機器の普及拡大を進めるとともに、AI等新技術の情報を収集し、水産分野への応用を進めます。

（1）系統ブランド資材

- ① 重点品目（タイナイロン・ベトナム製養殖籠）の取扱強化
- ② 中国製フロート、樹脂製タコ函の取扱推進
- ③ 漁網リース活用の推進
- ④ 浜からの意見、要望に合わせた資材の開発・提供

（2）漁具リサイクル

- ① 刺網（ナイロン）リサイクルの実施
- ② プラスチック製品（魚函、パレット等）

（1）経営基盤の強化

- ① 本道漁業生産の回復に向けた養殖やスマート漁業等の先行事例に関する情報の収集や発信
- ② 共販体制及び系統利用率の向上を目的とした取組の強化
- ③ ウイズ・ポストコロナにおける「ニューノーマル（新常态）」など、経営環境の変化に対応した組織基盤整備
- ④ 効率的な事業推進体制を目的とした本会グループ事業の再編
- ⑤ 中長期的視野に立った戦略的かつ効果的な投資の実施
- ⑥ 生産性の向上
- ⑦ 人材育成計画に基づく職員教育による人材力強化の推進
- ⑧ 本会グループレベルでの事業強化に向けた適材人員の配置、業務体制の構築
- ⑨ 情報技術の活用による業・事務合理化の推進
- ⑩ 効率的な業務体制の構築とコスト削減対策
- ⑪ サプライチェーンの最適化への取組強化
- ⑫ 本会集荷力及びメーカー機能の強化
- ⑬ 国内外の流通販売網の拡充
- ⑭ 物流パートナーシップの連携強化

（2）本会グループ危機管理体制の拡充

- ① コンプライアンス（法令順守）経営の継続
- ② 経営管理機能の強化、リスク管理の徹底
- ③ 取引先の情報掌握及び債権管理の徹底
- ④ BCP（事業継続計画）に基づく災害・

リサイクルの実施
③ 他漁業資材（ロープ、鉄等）のリサイクルの事業化検討

（3）漁業用燃油

- ① 供給体制の見直しによる系統利用の推進
- ② 共有燃油施設再編整備計画の実施と今後の方向性策定
- ③ 系統燃油施設の保全管理強化

（4）一般資材

- ① 環境に配慮したエコ資材（バイオマスプラスチック包材等）の情報収集や取扱の推奨

（5）施設・機器

- ① 省力化機器の普及拡大（船舶用高圧洗浄機、ほたて耳吊用穴あけ機等）
- ② AI等新技術の水産分野への応用検討



ベトナムでの養殖籠製造の様子

危機対応強化

（3）SDGsに向けた本会CSR活動の充実

- ① 海洋環境の保全に向けた脱・抑プラスチック運動の継続
- ② 植樹活動・省エネルギー対策・5Rの継続

〔5R〕とは

- ・リデュース ゴミの発生・排出抑制
- ・リユース 再利用
- ・リサイクル 再資源化
- ・リフュース 不要な物は受け取らず
- ・リペア 修理して長く使う

- ③ カーボンニュートラル実現に向けた各種手法の調査
- ④ 本会CSR活動の発信による企業価値及び認知度の向上
- ⑤ マンガ教材（漁協のひみつ）やアニメーションを活用した効果的な啓発活動の実施

この春に組合学校を卒業した 中塚さんにお話を伺いました



小樽水産高校→
組合学校→宗谷漁協
中塚 雄大さん
趣味:音楽鑑賞
特技:ランニング

本当は高校卒業後、そのまま宗谷漁協に就職しようと考えていたのですが、組合学校の入学を勧められ、実際に通ってみると本当に良い経験になりました。学校での生活を振り返ると、協同組合の相互扶助の考え方など基礎的なことから簿記や会計など幅広い分野で学ぶことができましたし、全国各地から出身も年齢もバラバラな人たちが集まると、多少のトラブルもありましたが、同期の皆とは良い関係を築くことができたと思っています。

新型コロナの感染拡大を受けて実習や研修が中止となるなど、残念なこともありましたが、自分にとっては貴重な1年間になったことは変わりありません。4月からお世話になる宗谷漁協では、組合員さんに1日も早く自分の顔と名前を覚えてもらい、信頼される職員になりたいです。

一方で今年の3月に卒業した第82期生では2名の方がすでに道外の漁協で働く現職者でした。このように組合学校ではさらなる知識・技術の向上や学び直しの場としての側面もあるとともに、現職の漁協系統団体の職員などを対象とした階層別研修も実施しており、監査士や漁業経営指導員を養成するための短期講座なども開催しています。

4月7日に行われた令和4年度入学式の様子



入学式では代表して亀岡さん(愛媛県伊予市出身)が力強く宣誓を行いました

ダイとなったときに互いに助け合える仲間がいることは非常に大切、と多く聞かれるとのことでした。ぜひ今年の第83期生もそういった関係が築けると良いですね。

将来の漁協を担う若きリーダーを養成

全国漁業協同組合学校とぎょれん奨学金制度



昨年5月に実施された「横浜市漁協」での研修



昨年の11月には水産庁を訪問し、神谷長官自らが特別講義を行いました

組合学校は、昭和16年に現在の東京都中央区にあたる東京府京橋区に全国漁業組合連合会付属「漁業組合学校」として設立されました。その後、昭和24年に水産業協同組合法が施行されたことに伴い、校名を「全国漁業協同組合学校」に改称。昭和50年には千葉県柏市に新校舎が建設・移転され、現在に至っています。組合学校では1年間の学生生活のなかで、協同組合論などの漁協の運動・事業・経営に必要な理論と実務知識の習得、併せて簿記・パソコンなどの資格取得を目標に教育を行っている。卸売市場見学や漁協での実地研修といった校外学習にも力を入れています。また、全寮制となっており、共同生活を通じて学生の自治と協同の精神を養っているの

漁協グループ全国唯一の教育機関として「協同組合精神を持った漁協職員」を養成している「全国漁業協同組合学校」。昨年10月に創立80周年を迎え、道内の漁協や漁村へも多くの指導者を輩出している歴史ある学校です。また、先行していた沖縄県に加え、近年は北海道、三重、和歌山で組合学校生への奨学金制度が創設されるなど、漁協職員の人材育成と確保の必要性が高まっています。今月号ではそうした将来の漁協を人材面で支える全国漁業協同組合学校(以下、組合学校)とぎょれんの奨学金制度についてご紹介します。

も特徴です。これまで約2700名が卒業し、9割超が漁協へ就職。さらに組合学校職員の方の各方面に及ぶ積極的なアプローチにより、漁業者や水産会社、行政機関など就職先の間口も広がり、近年は100%の就職率を維持しています。

創立80周年を迎え吉田校長にメッセージをいただきました

今年の3月に14名の若人が1年間の学校生活・寮生活を終え、たくましく成長し、漁協職員や漁業者として全国の浜に巣立っていました。そして、4月、新たに8名の新入生を迎えました。学生は、希望に胸を膨らませて、寮での日に三度の食事を仲間と楽しみながら、元気に勉学に励んでいます。



吉田 博身 校長

このような毎日を積み重ねて、組合学校は昨年10月1日に、創立80周年を迎えることができました。ひとえに全国の漁協、漁連、信漁連、全国連の全面的な支えのおかげです。個性を発揮しながら「漁業者・組合員の幸せのために働く」ことを生きがいとする、意欲ある漁協職員を育成することを目標に努力を続けてまいります。

ぎょれん奨学金制度とは？

近年、道内の漁協では新規採用職員の減少や職員の高齢化、さらには早期退職傾向が続くなど、職員の確保に向けた対応が急務とされています。一方、漁協職員を養成する組合学校においても、入学を希望する学生の減少傾向が続いており、全国的にも人材確保、育成に関わる基盤が揺らいでいます。

北海道ぎょれんでは、そうした漁協の深刻な人手不足の解消や即戦力となる人材確保には組合学校の卒業生が適任であるとの判断のもと、学費および経費支援を行うとともに、一定期間の漁協就業により返済免除とすることを基礎とした「北海道ぎょれん奨学金制度」を創設し、2021年4月入学者から運用を開始しました。左上写真の中塚さんをはじめ初年度は3名、2年目は6名が対象と徐々に浸透してきています。同じく奨学金制度のある沖縄や三重と比べても助成内容が手厚く、組合学校からも北海道ぎょれんの制度が他県の先駆的事例となってもらいたい、と期待されているところです。

※募集要項や申請様式など奨学金応募に関わる問い合わせは指導教育部までお願い致します。

奨学金制度概要

【対象】

- ・道内の水産高校(小樽水産、函館水産、厚岸翔洋)および、道内一般高校を卒業予定で漁協の推薦のある者
- ・組合学校卒業後、道内漁協・漁協系統への就職を希望する者

【内容】

- ・入学金・学費・寮費見合いとして年間150万円を助成

【条件】

- ・組合学校卒業後5年間、道内の漁協・漁協系統で就業することまたは道内にて漁業へ5年間従事すること

シークワードクイズ

5月のテーマ「野鳥」

ア	エ	ツ	ミ	ナ	メ	シ
オ	カ	コ	グ	バ	マ	サ
サ	サ	ハ	ツ	ガ	ヒ	ジ
ギ	カ	ワ	ラ	ヒ	ワ	ア
ソ	ウ	ゲ	ト	ン	カ	モ
キ	マ	ギ	ム	ゲ	ガ	ガ
ク	ロ	ジ	ラ	ガ	ヒ	マ

どれにも使用しなかった文字をうまく並べてください。

解答 となります。

くわしい応募方法は、13ページをご覧ください。
抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

リン	ゴ	ケ	ツ	ラ	ナ	4月号の解答と当選者
ス	オ	ヤ	カ	デ	ツ	ヤツハシ
ガ	ボ	タ	ス	ボ	ン	(厚 岸 町) 佐藤 紅葉さん
メ	ハ	カ	カ	ゲ	ウ	(斜 里 町) 吉田 彩香さん
ル	ワ	イン	ハ	タ	ニ	(利尻富士町) 坂本 澄子さん
ク	ヤ	モ	シ	ン	コ	(札幌市) ほたてバナーさん
シ	チ	ナ	ブ	ヤ	サ	(札幌市) 佐藤 藤さん

5月は「野鳥」がテーマです。野鳥の飼育は日本では鳥獣保護法で禁じられています。ただし、保護のために許可を得て飼育することは可能です。

図の中で、たて、よこ、ななめの一直線に下のリストのキーワードが読めるようになっています。

どこにあてはまるか探してください。すべて探し終わったら、どれにも使用しなかった文字をうまく並べかえてください。

リスト

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|
| ☐ アオサギ(青鷺) | ☐ シメ(鴿) |
| ☐ アカゲラ | ☐ ツバメ(燕) |
| ☐ アカハラ(赤腹) | ☐ ツミ(雀鷹) |
| ☐ アジサシ(鯨刺) | ☐ トラツグミ(虎鶯) |
| ☐ ウソ(鷺) | ☐ ヒガラ(日雀) |
| ☐ カワラヒワ(河原鶯) | ☐ マガモ(真鴨) |
| ☐ クマゲラ | ☐ マガン(真鴈) |
| ☐ クロジ(黒鷗) | ☐ マヒワ(真鶯) |
| ☐ コサギ(小鷺) | ☐ ムギマキ(麦播) |

〈ヒント〉北海道のみに生息するシマ〇〇〇はつぶらな瞳で大人気ですね。

解き方

リストの言葉をマス目の中からタテ、ヨコ、ナナメの一直線に探していきます。文字は逆方向から読んでも、他の言葉と重複して読んでもOK。すべて見つけた後、使われなかった文字をうまく並べかえたと答え(魚の名前)になります。

例題

ア	コ	ン	ブ	リスト ☐ アキアジ ☐ コマイ ☐ プリ ☐ サンマ ☐ コンプ ☐ アサリ	ア	コ	ン	ブ
キ	ア	サ	リ		キ	ア	サ	リ
ア	バ	ン	サ		ア	バ	ン	サ
ジ	コ	マ	イ		ジ	コ	マ	イ

〈解答〉サバ

間違いさがし

間違いは5つです。

※右と左の絵には、5カ所の異なる点があります。
さあ、見つけてください。
(印刷のズレや汚れは関係ありません。)



※答えは13ページにあります。

全道各地で地区組合長会議が開催

各浜で令和4年度のぎょれん事業計画を説明しました

01

4月5日(火)～15日(金)にかけて全道9カ所で地区組合長会議が開催され、ぎょれんは2班に分かれて各地区の会議に出席しました。会議では令和3年度の決算見込みや令和4年度事業計画の基本的な考え方等について説明を行い、漁協幹部の皆様と意見を出し合いました。

今後は各浜から寄せられたご意見・ご提言を活かしながら事業計画を策定し、今年度の事業を推進していきます。



北見地区組合長会議の様子



宗谷地区組合長会であいさつをする川崎会長

北海道喜こんぶフェア開催記念企画

「昆布×スイーツ 美味しいセミナー」が開催されました

02

4月5日(火)、札幌のセンチュリーロイヤルホテルで「昆布×スイーツ 美味しいセミナー」が開催され、事前に申し込みいただいた約50名が参加しました。このイベントは、3月1日から4月30日まで同ホテルで開催された「北海道喜こんぶフェア」の一環として、北海道昆布漁業振興協会の協賛により実施されたもので、特に美容や健康に関心の高い女性が多く参加されていました。

セミナーは二部制となっており、前半はぎょれんの販売企画部・田村主事による昆布食育セミナーと昆布だしの試飲、後半は同ホテルの中村製菓長による昆布スイーツ教室デモ&トークとして、家庭で簡単にできるオリジナル昆布スイーツレシピの紹介と作り方の実演が行われ、参加者は昆布が持つ魅力や新たな可能性について、真剣に耳を傾けていました。

その後の試食会では、道内各地の昆布を用いた5種類の昆布スイーツと、昆布ジャムのサンドイッチや昆布の刻みが入った野菜サラダなどの軽食が振る舞われ、参加者はその見た目の美しさや味わたったことのない昆布メニューのおいしさに感嘆の声をあげていました。



食育セミナーでは昆布の種類や使用用途をはじめ、最新の機能成分研究などについて学びました



試食会で提供された5種の昆布スイーツと軽食。さらに昆布茶も用意されました

編集部からのお知らせ

皆様からのお便り、写真、イラストをお待ちしています！

次の①～③を明記の上、ご応募ください。抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

- ①なみまるおたより箱への投稿（お便り、写真、イラスト等）や、広報なみまるくん5月号への感想・ご意見など（※150字程度まで）
- ②11ページのシークワードの答え
- ③住所・氏名・年齢・電話番号

〈宛先〉5月24日までにお送りください。

（郵便）〒060-0003

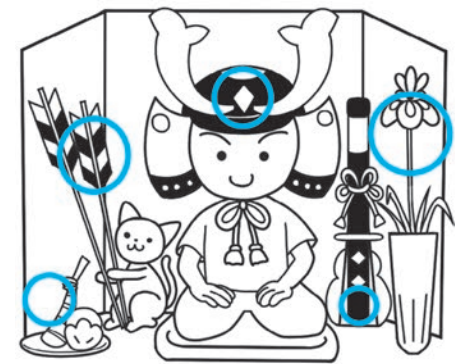
札幌市中央区北3条西7丁目1番地
北海道ぎよれん 総務企画部 広報担当

（FAX）011-242-3543

（電子メール）info@gyoren.or.jp

※「なみまるおたより箱」には①からご紹介します。ご応募いただいた方の個人情報は、図書カード進呈や、お便り、写真、イラスト等の掲載（氏名、年齢、市町村名）にのみ使用いたします。写真やイラストは、返却できませんのでご了承ください。

11ページの間違ひさがしの答え



入学して黄色いカバールをかけたランドセルを背負った1年生、見てるだけで笑顔になりますネ！
（小樽市 宮古登美子さん）

4月号の令和4年度ぎよれん事業計画（案）―前編―を読みました。課題を担当する職員の皆さんには問題解決への道程は決して甘いものではないと思いますが強い探求心と継続が問題解決の足掛かりになると思います。頑張ってください。
（釧路市 曾我徹也さん 77歳）

みなさんのお便りでつくるページです。

なみまるおたより箱



（札幌市 佐藤さん 27歳）

雪も溶け、人と会う機会も少しずつ戻ってきましたが、まだまだ悪い話はなくありません。そんな中、にしんの水揚げは増えてきているようなので春を感じつつ、旬のにしんが食べられるのを楽しみに過ごしていこうと思います。

（札幌市 ぼたてバターさん 46歳）

群衆のニュースを見ると春だなあと感じます。大変な冬でしたが、やっと終わりましたね。暖かくなると気持ちまで軽くなります。桜が咲くのが楽しみです。
（小樽市 宮古知行さん）

春の小型定置網がそろそろ始まりです。ヤリイカ・桜鱒が獲れて食べたいです。



（石狩市浜町からの夕日）

雪もとけたしクイズもとけた。気持ちよく浜の仕事するぞ。
（興部町 ユメのトーチャンさん 70歳）

この頃、作るのが面倒なので、ぎよれんの「知内産のかきフライ」出来上がっているので揚げるだけ、とてもおいしいよ、食べてみてね。
（北斗市 福永乃利子さん 79歳）

編集後記

札幌市内の雪も4月中旬までになくなり、陽気に誘われて街歩き気分です。でもほんとは近所の三角山（311m）に登りたいんです。往復でゆっくり休んでも2時間かかりません。体力づくりにはもってこいです。ところが今は熊の出没のため登山口閉鎖されています。きっとGWも登山は無理でしょう。我々は山にお邪魔させていただいている立場ですから仕方ないですね。
（藤江）

皆さん「飯テロ」という言葉を存じでしょうか？インターネット上で広まった、食べ物「飯」と「テロリズム」を合わせた造語で、つまりは写真や動画を見た（見せられた）人が我慢できなくなるほどおいしそうなことを、逆説的に訴えている感じです。

この「飯テロ」では無いかもしれませんが、ぎよれんの公式YouTubeチャンネルで、わずか15秒ほどの短い間に効果音が入った「ぼたて」「昆布」「秋鮭」「く」の動画をアップしたところ、2月の公開からあつという間に10万再生回数を突破し、現在もどんどん増え続けています。ぜひ皆さんもお腹が空いて我慢できなくなる美しい映像と効果音を体験してみてください。

（古村）



ぎよれんYouTubeチャンネル「PR動画」

大漁と笑顔で帰宅が家族の願い

公益社団法人 北海道海難防止・水難救済センター

大漁祈願！

news

浜のほつとニュース

小樽

4月初旬でにしん刺網漁が終漁となりました。浜は大漁かつ、単価も昨年度並みを維持したことから活気溢れる2カ月半となりました。中旬に入った現在では「ぼたて稚貝」の出荷が始まっています。昨年度に比べ時化が少なく、順調な出荷が行われています。一方、下旬からは小女子漁、わかさぎ漁が始まります。春漁を迎え忙しいシーズンですが、安全な操業と順調な水揚げとなることを祈念しています。

室蘭

4月中旬から春定置網漁が開始し、初日から本ますを中心とした水揚げがまとまると、時鮭やますのすけの姿も見えるようになってきました。一方、噴火湾地区では養殖ぼたて漁の稚貝耳づくり作業も進んでおり、来冬の水揚げへの大きな期待が込められています。今後の豊漁を願うとともに、生産者の皆様の安全操業を心より祈願しています。

函館

暖かい日が徐々に増え、春の訪れを感じる渡島管内では、各浜で定置網漁が始まっています。南かやべの大謀網（定置網）では、季節ごとに、春は本ます、夏はいか・さば、秋はぶり・秋鮭、冬は助宗と様々な魚が水揚げされます。今春はほつてにしんの水揚げが多く、活気づいています。引き続きの豊漁と安全操業を切に願っています。

梶山

桜の便りが全国各地から届く今日この頃、ひやま地区では、4月初旬から各支所でなまこ漁が次々と開始されています。本ますの水揚げも本格化し、銀鱈まぶしい大きな魚体は市場で注目を集めています。今後もより多くの水揚げが続くこと、安全操業となるよう切に願っています。

釧路

4月中旬に入り、少しずつ暖かくなってきた管内では、春の漁に向けた準備が進んでいます。しかし例年4月10日に解禁されるさけ・ます流し網漁については、日口漁業交渉が遅れて開始された段階にあります。交渉がうまく進み、一日も早く出漁できることを祈っています。一方、4月末からは春定置網漁が開始される予定で、春本番を迎えつつあります。こちらも豊漁と引き続きの安全操業を祈っています。

根室

4月に入り、にしんや黒がれいの水揚げが本格化してきました。にしんについては、標津漁協にて日産170トンを超える水揚げがあり、今年も豊漁の期待が高まっています。黒がれいについても同様に、順調に水揚げ数量が増えてきています。気温も少しずつ上がり始めていますが、体調管理に留意し、益々の豊漁を祈願しています。

日高

例年桜前線の北上と前後して春定置網漁が始まります。現在、浜では定置網の操業準備のため、あちこちで土俵袋が積みあがっています。昨年はさくらますの水揚げが近年で一番の豊漁となりましたが、時鮭の水揚げは芳しくありませんでした。浜からは今年はさくらますだけではなく、時鮭の水揚げも上向いてほしいとの声が聞こえています。本年も春定置の豊漁と、皆様の安全操業を祈願しています。

北見

オホーツク海にも少しずつ春の兆しを感じられるようになりました。ぼたての稚貝放流も始まり、4年後の豊漁を願い、浜一丸となって取り組んでいます。一方、毛がに籠、底曳網漁に加え、刺網漁やほつき漁、春定置網漁等も始まり浜は賑わいを見せています。今後忙しさを増しますが、安全操業と豊漁を心より祈願しています。

稚内

稚内は路肩に残っていた雪も溶け、暖かい春の風を感じる頃となりました。オホーツク地区ではぼたての漁場造成、稚貝放流を行っており、本操業に向け着々と準備が進んでいます。6月からは夏なまこや利礼地区のほつて刺網漁、のな漁も解禁となることから、浜も活気づいています。新型コロナウイルスの終息、そして安全操業を第一に豊漁となることを心より祈願しています。

留萌

3月下旬より一部の地域で始まっていたぼたて稚貝の出荷は、4月に入り全地区にて本格化し、各地で毎朝賑わいを感じさせる時期となりました。一方、春漁も最盛期を迎え、刺網漁でのにしんや真ほつての水揚げが続いています。季節の変わり目で時化の日が多いですが、今後は風恵まれ、皆様が安全操業で、大漁となることを心より祈念しています。



レシピアクセス数

第40位

ぬかにしん三平汁

今回は増毛漁協 丹保礼子さん考案の「ぬかにしん三平汁」をご紹介します。

ぬかにしんのうま味は、昆布のうま味と相性抜群。絶妙な味わいです。

ぬかにしんから塩味が出るので、

薄めの味付けで作るのがポイントです。



2022年はぎょれんのホームページ「おすすめレシピ365」のアクセス数上位50位からレシピをご紹介します。
魚種や料理法の重複など考慮して掲載を決めています。

*2020年1～12月調べ

材料 4人分

水…………… 1.2リットル
だし昆布…………… 適量
じゃがいも…………… 2個
にんじん…………… 1/4本
ぬかにしん…………… 1～2本
長ねぎ…………… 1/2本
塩…………… 少々



作り方

- ① 鍋に水を入れ、昆布で出汁をとる。
- ② じゃがいもは大きめの角切り、にんじんは厚さ5ミリのいちょう切りにし、長ねぎは斜め切りにする。
- ③ ぬかにしんはぬかを洗い落とし輪切りにする。じゃがいも、にんじんとともに①の鍋に入れ、火にかける。
- ④ 野菜がやわらかくなるまで煮て、お好みで酒、塩で味を調え、長ねぎを加え火を通したら出来上がり。